

CONTENTS

01 目次／発行にあたって・編集方針

03 存在意義(パーパス)

「世のため 人のため」を原点として

トヨタ紡織グループについて

04 フィロソフィー

05 会社概要・組織

06 事業と展開地域

07 財務非財務データ

08 資本と強み

100年を超えて培ってきた私たちの競争優位性

09 価値創造プロセス

11 価値創造のあゆみ

13 3つの強み(経営資源)

15 市場環境と今後の事業展開

16 ビジョンと戦略

価値創造に向けた道筋とマネジメント手法

17 トップメッセージ

23 CFOメッセージ

27 「2025年環境取り組みプラン」達成に向けた取り組み

29 サステナビリティマネジメント

31 マテリアリティ

33 2025年中期経営計画

35 KPI

37 トピックス(ESG関連)

38 実践と成果

マテリアリティ実現に向けた取り組み

39 特集1 インテリアスペースクリエイターを目指して

43 特集2 生産現場でのダイバーシティ&インクルージョン

2025年中期経営計画 重点取り組み事項

47 取り組み 1

53 取り組み 2

57 取り組み 3

61 取り組み 4

事業別戦略

65 2021年度取り組み実績

66 シート事業

67 内外装事業

68 ユニット部品事業

69 トピックス(新価値創造に向けた取り組み)

70 ガバナンス

強靱なグローバル経営基盤の確立

71 社外役員対談

73 コーポレートガバナンス

81 役員一覧

83 コンプライアンス/リスクマネジメント

86 補足資料

マテリアリティ／中期経営計画

87 マテリアリティ策定プロセス

89 過去の中期経営計画

財務・企業情報

91 10ヵ年サマリー

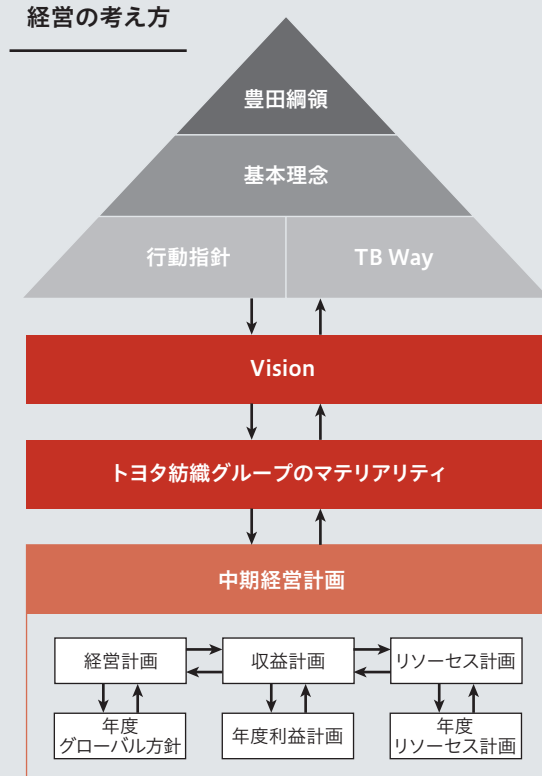
93 財務レビュー

97 連結財務諸表

101 ビジネスドメイン

103 株式・企業情報

経営の考え方



発行にあたって

当社グループは持続可能な成長を遂げるために、さまざまな社会課題の中から本業を通じて優先的に取り組む重要な課題を特定し、解決する姿をマテリアリティとして策定しています。現在、マテリアリティ実現への施策を織り込んだ「2025 年中期経営計画」を推進しています。

本レポートは、ステークホルダーのみなさまとの建設的な対話を深めるためのツールであり、当社グループが中長期的な企業価値向上に向け、将来をどのように考え、行動しているのかを報告するものです。ぜひご一読のうえ、当社グループへ率直なご意見をくださいますようお願いいたします。

トヨタグループの創始者である豊田佐吉の考えをまとめた「豊田綱領」を起点として、100年を超える歴史の中で獲得してきた強み、現在の市場環境を踏まえ今後の事業展開をどう捉えているのかを紹介いたします。2つの章を通して、当社グループが大切にしている「価値観」と長期的かつ持続可能な価値創造のしくみである「価値創造プロセス」のつながりを説明しています。

掲載しているテーマ

価値観／ビジネスモデル

持続可能な成長を目指すために、社会にどのような価値を提供するのか——当社グループの目指す姿、経営者メッセージ、環境の取り組み、サステナビリティのマネジメント体制、戦略、進捗把握のための財務、非財務KPIの考え方などを示しています。

掲載しているテーマ

長期ビジョン／リスクと機会／重要な成果指標(KPI)

チーフオフィサーをはじめとした責任者のメッセージ、2025 年中期経営計画の重点取り組み事項の進捗を報告しています。また、特集では当社グループが目指す「インテリアスペースクリエイター」、生産現場での「ダイバーシティ&インクルージョン」を取り上げています。

掲載しているテーマ

実行戦略／成果

すべてのステークホルダーの立場を踏まえ、透明・公正かつ迅速な意思決定を行っており、コーポレートガバナンス・コードへの対応状況などを報告しています。また、社外取締役の小山明宏氏と社外監査役の横山裕行氏の対談では、取締役会の状況について語り合っていました。

掲載しているテーマ

ガバナンス

マテリアリティ策定プロセスの詳細や2020年度までの中期経営計画など、過去のトヨタ紡織レポートで報告した情報ではあるものの、当社グループの価値創造を理解するのに必要な情報やデータを補足情報として掲載しています。

編集方針

報告対象の範囲

本レポートは、日本および世界各地のトヨタ紡織グループを報告対象としていますが、取り組みごとに報告範囲は異なります。

本レポートでは、以下の表記で報告対象を使い分けています。

トヨタ紡織グループ：日本、米州、中国、アジア・オセアニア、欧州・アフリカ地域

トヨタ紡織：トヨタ紡織(株)

日本地域：トヨタ紡織(株)、日本子会社

日本以外の地域：米州、中国、アジア・オセアニア、欧州・アフリカ地域

一部項目は個々に範囲を記載しています。

本レポートの対象期間

2021年4月1日から2022年3月31日まで。

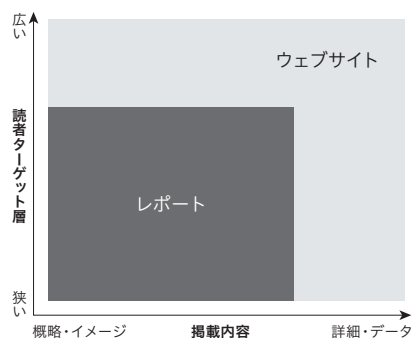
一部に当該期間外の活動内容を含んでいます。

参考にしたガイドラインなど

- VRF「国際統合報告フレームワーク」
- 経済産業省「価値協創のための統合的開示・対話ガイダンス」
- GRI サステナビリティ・レポート・スタンダード(GRI スタンダード)
- ISO26000
- 環境省「環境報告ガイドライン2018年版」

重要性と網羅性について

本レポートでは特に重要性の高い情報を中心に、読みやすくわかりやすく編集しています。ウェブサイト(<https://www.toyota-boshoku.com/jp/>)で詳細な情報を開示しています。



予測情報に関する注記事項

本レポートには、トヨタ紡織グループの将来についての計画や戦略、業績に関する予想、見通しが含まれています。これらの記述は過去の事実ではなく、当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定および所信に基づく見込みです。また、経済動向、自動車業界における激しい競争、市場需要、税制、法律、制度変更、天災などのリスクや不確実性を含んでいます。したがって実際の業績は当社の見込みと異なる可能性があります。

業績に関する数字の表記について

本レポートに記載している業績に関する数字は、表示未満の位を切り捨てています。